

## 市は民間賃金の引上げに積極的な取り組みを

日本共産党高山市議団  
牛丸 尋 幸



### 問

市のアンケート調査では、6割の方が暮らしの中で不安を感じている。不安の一番は「経済的な不安」、二番が「介護の不安」である。また、5割の方が「働く場として高山は魅力がない」と答えている。理由の一番が「給与水準が低い」、二番が「雇用の場が少ない」である。市の施策が市民の不安や、給与引上げ等に効果を発揮していないのではないかと。

### 答

課題を正確に捉えて、次の施策に反映するためアンケートを行った。今後の政策課題をしっかりと把握し、次の第八次総合計画後期計画など、十分に政策に反映していく。



## こころのスキルアップ教育で明るい未来を!

高山市政クラブ  
西田 稔



### 問

認知行動療法の考え方を教育に応用した「こころのスキルアップ教育」が教育現場では効果的であると考えているが、どう捉えているか。

### 答

「こころのスキルアップ教育」とは、認知行動療法の要素をもとに、子どもたちの情緒の安定とストレスへの対処力を高めるための授業プログラムである。子どもたちが小・中学校と発達していく上での課題の一つとして、心と体の発達の違いや成長のバランスが崩れることで不適応を起こすことがある。子どもたちには人間関係を上手に乗り越える指導支援を行うことが大切と考えている。



## 今後の防災対策について

高山市政クラブ  
榎 隆 司



### 問

昨年の7月の大雨、9月の台風等による大変な被害があったことから防災対策の強化が必要と考えるが、今後どのような対策を実施するのか。

### 答

次項について進めていく。

- ・ 指定避難所へのテレビ視聴環境の整備
- ・ 地区防災計画策定に向けた協議を開始
- ・ 職員の避難所運営等の防災対応能力の向上
- ・ 要配慮者避難方法の確立と避難場所の確保
- ・ 地理情報システムの活用方法を検討
- ・ 避難所毎の運営レイアウト等を検討



## 学校教育について

高山市政クラブ  
松葉 晴彦



### 問

小・中学校の前期・後期制の総括は。また、部活動の外部指導者の実績・効果と今後の方向性は。

### 答

前期・後期制について保護者、地域、児童生徒の代表、教職員を対象にアンケートを実施した。効果と課題をまとめ、更なる改善に取り組む。外部指導者は平成30年度延べ108人で顧問等の指導補助、生徒の技術力向上に効果が大きかったと認識している。来年度からは外部指導者の他に、一定の基準を設けて部活動指導員を配置したい。指導員は実技指導、学校外の引率など顧問同様に部活動の管理運営を行うことができる。

